

令和6年度 1年生

久御山高校

シラバス

【科目案内と学習内容】

京都府立久御山高等学校

令和6年度 1年生シラバス

目 次

国語科	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-01
地歴・公民科	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-04
数学科	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-06
理 科	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-08
保健体育科	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-10
芸術科	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-14
英語科	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-17
情報科	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-19
総合的な探究の時間	・・・・・・・・・・・・・・・・	1-20

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-04	地理歴史	歴史総合	1	S・A	2	必修

何を学ぶか

- ① 近代史・近現代史を中心に世界と日本の歴史を学ぶ。
- ② 「近代化」の時代を学ぶことにより国家の成り立ちを学ぶ。
- ③ 「国際秩序の変化や大衆化」について学ぶことで二度の世界大戦の展開・結果について学ぶ。
- ④ 「グローバル化」という視点から現代の世界規模の諸問題について学ぶ。

学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

学習方法

使用教科書【山川出版707 歴史総合 近代から現代へ】

- ① 教科書に沿いながら学習を進め、授業に関連する出来事に関心を持つ。
- ② テーマに沿ってグループ学習や討論を行う。

評価方法

知識・技能 35% : 定期考査、小テスト等により評価する。

思考・判断・表現 40% : 定期考査、小テスト等により評価する。

主体的に学習に取り組む態度 25% : 各種課題、振り返りシートへの取り組み状況により評価する。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
近代化と私たち	結びつく世界	■	■																																		
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立				■	■																															
	明治維新～帝国主義							■	■	■	■																										
国際秩序の変化や大衆化と私たち	第一次世界大戦と大衆社会																																				
	経済危機と第二次世界大戦																																				
	戦後の国際秩序と日本の改革																																				
グローバル化と私たち	冷戦と世界経済																																				
	グローバル化する世界、現代の課題																																				

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-05	公民	公共	1	S・A・P	2	必修

何を学ぶか

① 現代社会や個人の生き方に対する関心を高め、自らがどのように行動すべきか考える力を養うための「倫理」
 ② 国家と民主政治、憲法と国民生活、基本的人権、政治のしくみ、国際社会の動向などの「政治」
 ③ 戦後日本経済の歴史、資本主義経済のしくみ、金融・財政、海外貿易などの「経済」
 以上の三分野について学ぶ。

学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり 解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

学習方法

使用教科書【第一学習社711 高等学校 新公共】

① 教科書に沿いながら学習を進め、授業に関連する出来事に関心を持つ。
 ② テーマに沿ってグループ学習や討論を行う。

評価方法

知識・技能 40% : 定期考査、小テスト等により評価する。

思考・判断・表現 40% : 定期考査、小テスト等により評価する。

主体的に学習に取り組む態度 20% : 各種課題、振り返りシートへの取り組み状況により評価する。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
公共の扉	公共的な空間を作る私たち	■	■																																		
	公共的な空間での基本原理				■	■	■																														
社会形成に参画する私たち	法的な主体となる私たち																																				
	政治的な主体となる私たち																																				
	経済的な主体となる私たち																																				
持続可能な社会形成	ケーススタディ①																																				
	ケーススタディ②																																				

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-06	数学	数学Ⅰ・A	1	S・P	3+2	必修

何を学ぶか

- ・数学Ⅰは、数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析を学びます。
- ・数学Aは、場合の数と確率、図形の性質を学びます。
- ・高等学校数学の基礎的な定理や公式を証明し、それらの演習問題を解くことを通して、数学的な能力を身に付けていきます。

学習目標

- ・基礎的な知識の習得や問題を解く力の習熟を目指します。
- ・事象を数学的に考察し、処理する能力を養います。
- ・将来の進路希望を実現できるように、実践的な力を養います。

学習方法

使用教科書【数研出版714 新編 数学Ⅰ／数研出版714 新編 数学A】

- ・予習は、教科書に目を通し、例題の解法について理解に努め、疑問点をまとめます。
- ・復習は、習った例題や練習問題をもう一度、自分で解きます。理解できないところは、担当の先生に質問してください。問題集の類題を解くと、さらに理解が深まります。
- ・毎日続けることが大切です。

評価方法

知識・技能 40% : 定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度を中心に評価します。

思考・判断・表現 40% : 定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度を中心に評価します。

主体的に学習に取り組む態度 20% : 課題学習等の提出状況、及び学習の振り返りや授業中の取り組み状況を中心に評価します。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
数学Ⅰ	数と式	■	■																																		
	集合と命題	■	■																																		
	2次関数	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	図形と計量	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	データの分析	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
数学A	場合の数と確率	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
	図形の性質	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-07	数学	数学 I・A	1	A	3+2	必修

何を学ぶか

- ・数学 I は、数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析を学びます。
- ・数学Aは、場合の数と確率、図形の性質を学びます。
- ・高等学校数学の基礎的な定理や公式を証明し、それらの演習問題を解くことを通して、数学的な能力を身に付けていきます。

学習目標

- ・基礎的な知識の習得や問題を解く力の習熟を目指します。
- ・事象を数学的に考察し、処理する能力を養います。
- ・将来の進路希望を実現できるように、実践的な力を養います。

学習方法

- 使用教科書【数研出版714 新編 数学 I / 数研出版714 新編 数学A】
- ・予習は、教科書に目を通し、例題の解法について理解に努め、疑問点をまとめます。
 - ・復習は、習った例題や練習問題をもう一度、自分で解きます。理解できないところは、担当の先生に質問してください。問題集の類題および副教材の例題を解くと、理解が深まり、応用力がつけます。
 - ・毎日続けることが大切です。
 - ・進学に向けた取り組み(講習等)に積極的に参加することで実践力を高めます。

評価方法

知識・技能 40% : 定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度を中心に評価します。

思考・判断・表現 40% : 定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度を中心に評価します。

主体的に学習に取り組む態度 20% : 課題学習等の提出状況、及び学習の振り返りや授業中の取り組み状況を中心に評価します。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
数学 I	数と式	■	■																																		
	集合と命題	■	■																																		
	2次関数																																				
	図形と計量																																				
	データの分析																																				
数学A	場合の数と確率																																				
	図形の性質																																				

